

エコアクション21
環境経営レポート
2023年度

(対象期間 2023年7月1日~2024年6月30日)



 呉光塗装株式会社

2024年9月2日 発行


エコアクション21[®]
認証番号0012855


チーバくん
ちばSDGs
ちばSDGs/パートナー 576号

目 次

1. 環境経営方針	P 2
2. 組織概要	P 3
3. 実施体制	P 4
4. 環境経営目標及び実績	P 5
5. 環境経営目標と主な取組み状況と評価	P 5
6. 環境活動計画の内容と取組み結果の評価 及び次年度の取組み内容	P 6
7. 環境負荷の実績	P 7
8. 活動報告	P 8
9. 環境経営目標と環境経営計画	P 9
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果	P10
11. 代表者による評価と見直し	P10

1. 環境経営方針

環境経営方針

基本理念

呉光塗装株式会社は、官庁・民間企業及び住宅の建物施設・設備の改修工事業の事業活動を行って参りました。

これまで多くの住宅・庁舎施設の改修や橋梁等の塗替えを行ってきたノウハウを活かし、今後も循環型社会構築に向け積極的に取り組んで参ります。

その中で、更なる課題として環境改善・地球温暖化防止の重要性を認識し、日々の事業活動を通じ地域の環境保全と安心・安全の街作りへの取り組みに寄与するよう努めます。

その取り組みの一つとして、当社はエコアクション21環境システムを導入し、環境に優しい工事を推進し、お客様・発注者からの更なる信頼の確保と経営の安定を目指します。

環境経営活動 基本方針

基本理念のもとに関係法令を遵守し、次に掲げる項目を自主的、且つ積極的に取り組むとともに、定期的に見直し、環境マネジメントシステムの継続的な改善を行います。

- 1)事業所の全従業員に周知し、環境マネジメントシステムの理解と定着化を図ります。
- 2)協力会社に対して環境マネジメントシステムについての啓蒙啓発活動を行います。
- 3)事務所におけるエコオフィス活動を推進します。
 - ① 事務所を適正に管理し、電気・水道等の使用量の節減に努めます。
 - ② 廃棄物の分別を徹底し、排出抑制と資源化に努めます。
 - ③ 使用車両のエコドライブに努めます。
- 4)改修工事においては次の環境活動を実施します。
 - ① 現場における公害対策等に万全を期します。
 - ② 現場における建設副産物の分別を徹底し、資源化の推進と廃棄物の削減に努めます。
 - ③ 省エネと環境に配慮した改修工事を発注者へ提案します。
 - ④ 使用車両のエコドライブと、環境配慮型建設機械の使用に努めます。
 - ⑤ 現場の整理・整頓・清掃に努めます。
- 5)地域社会貢献活動に積極的に参加します。
- 6)環境経営レポートは一般に公開します。

制定： 2018年 7月30日

改訂： 2021年11月 6日

呉光塗装株式会社
代表取締役 **奥野 眞一**

2. 組織概要

1) 事業所名及び代表者名

呉光塗装株式会社
代表取締役 奥野 眞一

2) 所在地

本 社 〒271-0054 千葉県松戸市中根長津町25
TEL:047-365-1531 FAX:047-365-4221

東京支店 〒125-0042 東京都葛飾区金町1-19-13-203
TEL:03-6231-3537 FAX:03-6231-3538

資材センター (第1センター)〒271-0043 千葉県松戸市旭町2-278
(第2センター)〒271-0043 千葉県松戸市旭町1-201

3) 環境管理責任者氏名

取締役 奥野 仁識 T E L : 047-365-1531
取締役 西尾 弘美子 E-mail : ea21@gokou-tosou.co.jp

4) 事業内容

住宅・庁舎等の改修工事、橋梁・鋼構造物等塗装工事、他
許可番号:国土交通大臣許可(特-4)第014531号
許可業種:建築工事業、大工工事業、左官工事業、とび・土工工事業、
石工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、
鋼構造物工事業、鉄筋工事業、板金工事業、ガラス工事業、
塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業、熱絶縁工事業、
建具工事業、解体工事業

5) 事業規模 資本金 100,000,000円

事業規模	単位	2021年度	2022年度	2023年度
年間売上高	千円	4,034,125	5,158,717	4,057,201
工 事 件 数	件	12	25	14
従 業 員 数	人	59	71	53
延 床 面 積	m ²	538	538	538

※工事件数は5百万円以上

6) 事業年度 7月～6月

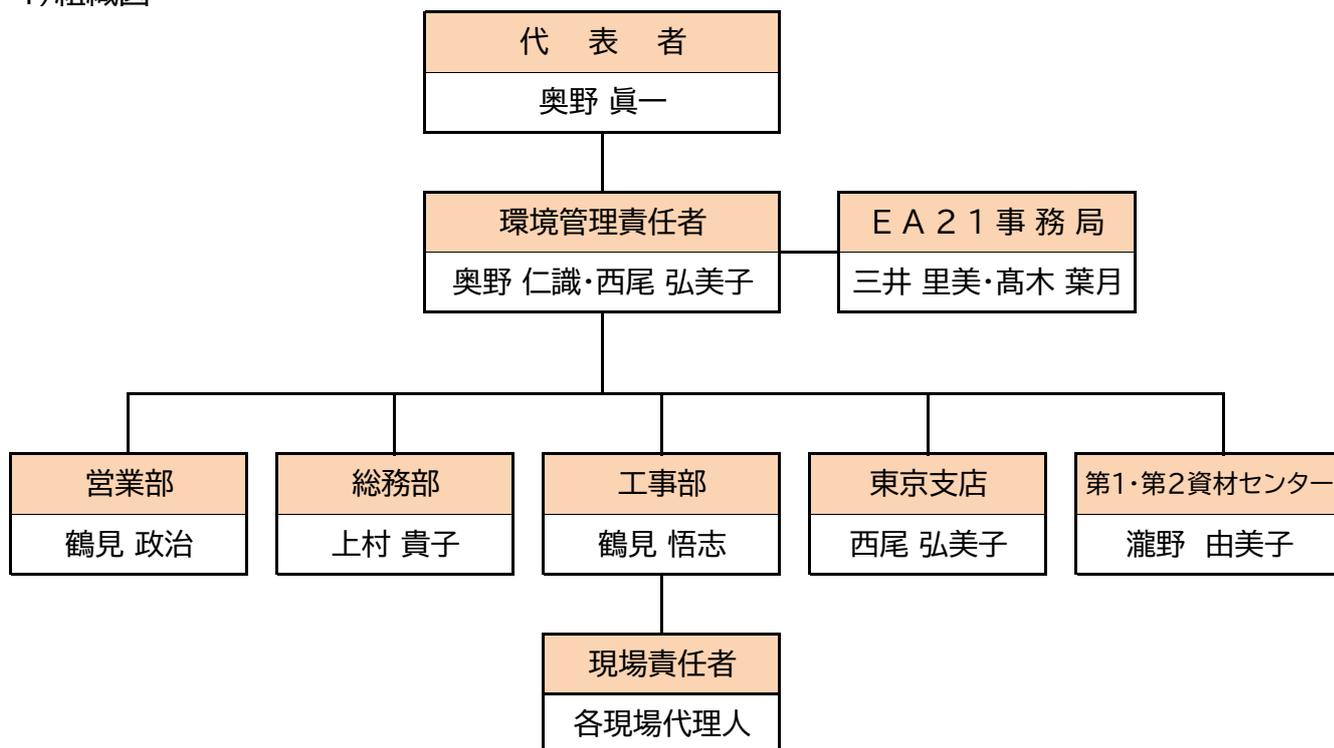
7) 認証取得

エコアクション21 (2019年8月6日認証取得)
登録番号:0012855

ちばSDGsパートナー登録制度 (2022年3月23日登録)
登録番号:576

3. 実施体制

1) 組織図



2) 役割分担表

役割	氏名	実施事項
代表者	奥野 眞一	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の総括 ・環境経営方針の策定及び環境管理責任者の任命 ・経営における課題とチャンスを整理し明確にする ・取組みに必要な資源の準備 ・全体の評価と見直し
環境管理責任者	奥野 仁識 西尾 弘美子	<ul style="list-style-type: none"> ・EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムの構築・実施・管理 ・代表者への報告
EA21事務局	三井 里美 高木 葉月	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営活動の推進 ・環境活動計画の周知 ・文書及び記録の集計・管理 ・環境経営レポート作成
全従業員		<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と取組みへの重要性の自覚 ・環境活動への自主的・積極的な取組み ・廃棄物分別の徹底 ・各現場での環境活動計画の実施及び報告

当社は全組織・全活動を対象範囲としています。

4. 環境経営目標とその実績

1) 環境経営目標の策定

当社は、本社、支店、資材センター、工事部の各部門からなり、それぞれの業務内容は大きく異なります。このため、環境負荷と環境への取組みをそれぞれの部門ごとに把握し、それぞれの環境への影響が高い項目を主たる目標とし数値を定めました。

2) 2020年度の実績(基準年)と2021年度・2022年度・2023年度の目標および実績等

環境経営目標項目	2020年度実績 (基準値)	2021年度				2022年度				2023年度				
		目標値	実績値	目標値比	達成	目標値	実績値	目標値比	達成	目標値	実績値	目標値比	達成	
全社 二酸化炭素の削減	kg 151,265	150,034	180,582	120.4 %	×	148,803	165,403	111.2 %	×	147,571	148,602	100.7 %	×	
本社・支店・資材センター	電力の節減(本社)	kWh 39,752	39,553	39,658	100.3 %	×	39,354	39,634	100.7 %	×	39,156	39,223	100.2 %	×
	電力の節減(東京支店)	kWh 448	444	437	98.5 %	○	439	478	108.9 %	×	435	411	94.6 %	○
	電力の節減(資材センター)	kWh 3,883	3,844	3,048	79.3 %	○	3,805	3,462	91.0 %	○	3,767	3,893	103.4 %	×
	ガソリンの節減(営業車)	ℓ 6,131	6,070	6,059	99.8 %	○	6,008	5,686	94.6 %	○	5,947	6,155	103.5 %	×
	軽油の節減(営業車)	ℓ 1,845	1,827	1,736	95.0 %	○	1,808	2,529	139.9 %	×	1,790	1,011	56.5 %	○
	水資源の節減	m ³ 683	維持	668	-		維持	590	-		維持	508	-	
	事務所廃棄物の削減	kg 1,010	維持	870	-		維持	1,090	-		維持	1,220	-	
	紙使用量の節減	枚 461,060	456,449	434,240	95.1 %	○	451,839	378,742	83.8 %	○	447,228	514,130	115.0 %	×
	地域環境保全活動	回 1	必要の都度	1	-		必要の都度	1	-		必要の都度	1	-	
	環境に配慮した計画・設計の提案	件 51	全件提案	37	-		全件提案	49	-		全件提案	55	-	
現場	電力の節減(現場)	kWh 80,172	79,771	109,481	137.2 %	×	79,370	102,876	129.6 %	×	78,969	94,577	119.8 %	×
	ガソリンの節減(現場車両)	ℓ 25,951	25,692	29,788	115.9 %	×	25,432	26,775	105.3 %	×	25,173	21,136	84.0 %	○
	ガソリンの節減(運搬車)	ℓ 2,536	2,510	1,992	79.3 %	○	2,485	2,660	107.1 %	×	2,460	3,220	130.9 %	×
	軽油の節減(運搬車)	ℓ 1,717	1,699	1,656	97.5 %	○	1,682	2,228	132.4 %	×	1,665	1,052	63.2 %	○
	ガソリンの節減(発電機)	ℓ 357	維持	396	-		維持	377	-		維持	205	-	
	軽油の節減(発電機)	ℓ 1,466	維持	5,142	-		維持	1,478	-		維持	3,428	-	
	資材の適正管理(塗料・防水材など)	件 20	全件実施	13	-		全件実施	20	-		全件実施	12	-	
	環境配慮工事の実施	件 20	全件実施	13	-		全件実施	20	-		全件実施	12	-	
建設リサイクルの推進	件 20	全件実施	13	-		全件実施	20	-		全件実施	12	-		

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数は、2021年1月7日環境省発表/2019年度の東京電力エナジーパートナー調整後排出係数は(参考値)事業者全体の(0.455kg-CO₂/kWh)を適用

5. 環境経営目標と主な取組み状況と評価

1) 本社・支店・資材センター

電気使用量については、活動内容の徹底により前年とほぼ横ばいの結果となった。引き続き継続していきたい。営業車両をハイブリッド車両へ変更するなど、環境負荷削減に努めており、エコドライブなどの取組みも徹底できている。毎日の近隣清掃活動のほか、市主催のクリーンデー参加などのボランティア活動を積極的に行っている。

2) 現場

多数の大型現場施工や感染症対策による電気使用量の増加により未達となったが、各活動内容は徹底している。運搬車などの車両燃料は、遠方の現場が多く走行距離が伸びた為未達となったが、活動内容を徹底するよう指導している。発電機は現場環境により、使用量が大幅に増えてしまったが、無駄な運転を行わないよう指導している。引き続き、低騒音や低振動の機種を選定し環境負荷の低減に努める。

6. 主な環境活動計画の内容と取組み結果の評価及び次年度の取組み内容

環境活動の計画においても、事務所、支店などの各部門別に計画を立案し実行した結果及び評価は次の通りです。

	項目	環境経営活動	評価	次年度の活動
本社・支店・資材センター	電力の節減 /本社	①室温/冷房28℃以上、暖房20℃以下	猛暑の影響などで使用量が増加し未達となったが、活動内容の徹底と、B棟2階に遮熱・断熱効果のあるウインドフィルムを貼るなど、対策をした	引き続き活動内容の徹底を行う
		②照明の小まめなON・OFF		
		③OA機器は省エネモードと不使用時OFF		
	電力の節減 /東京支店	①室温/冷房28℃以上、暖房20℃以下	活動内容を徹底し、目標を達成できた	継続
		②照明の小まめなON・OFF		
		③OA機器は省エネモードと不使用時OFF		
	電力の節減 /資材センター	①室温/冷房28℃以上、暖房20℃以下	普段使用していないプレハブで作業を行ったので、未達となった	引き続き活動内容の徹底を行う
		②照明の小まめなON・OFF		
		③OA機器は省エネモードと不使用時OFF		
	ガソリンの節減 /営業車	①急停車・急発進の抑制	4月中旬より、ガソリン車が1台増えたことにより使用量が増加し、未達となった	引き続きエコドライブに努め、継続する
②ふんわりアクセルの実施				
③アイドリングストップの実施				
軽油の節減 /営業車	①急停車・急発進の抑制	4月中旬より、軽油車からガソリン車に乗り換えたので使用量は大幅に減少した	軽油車が無くなったので項目を削除する	
	②ふんわりアクセルの実施			
	③アイドリングストップの実施			
水資源の節減	①「節水」の掲示	活動内容を徹底し、目標を達成できた	継続	
	②雨水の優先利用			
事務所廃棄物の節減	①新聞・雑誌・段ボール等のリサイクル	分別を行い、廃棄物削減に努めた	継続	
	②ピン・缶・ペットボトルのリサイクル			
紙使用量の節減	①両面コピーの利用	工事説明会資料の印刷が多く未達となったが、民間で電子掲示板を導入するなど、活動内容の徹底に努めた	引き続き活動内容の徹底を行う	
	②裏紙の利用			
	③電子情報の活用			
地域社会貢献活動	①事務所周辺の清掃活動	松戸市のボランティアに参加した	継続	
	②塗装組合・地域主催の清掃活動への参加			
環境に配慮した計画・設計の提案	①計画・設計の提案	月によりばらつきがあるが、全件提案ができた	継続	
	②顧客への説明			
現場	電力の節減 /現場	①室温/冷房28℃以上、暖房20℃以下	大型現場多数同時施工の影響や、熱中症対策の実施により未達となった	引き続き活動内容の徹底を行う
		②照明の小まめなON・OFF		
		③OA機器は省エネモードと不使用時OFF		
	ガソリンの節減 /現場車両	①急停車・急発進の抑制	活動内容の徹底と使用車両減少により、目標を達成できた	継続
		②ふんわりアクセルの実施		
		③アイドリングストップの実施		
	ガソリンの節減 /運搬車	①急停車・急発進の抑制	遠方の現場での使用が増えたため、未達となった	引き続きエコドライブに努め、継続する
		②ふんわりアクセルの実施		
		③アイドリングストップの実施		
	軽油の節減 /運搬車	①運搬コースの短縮化	活動内容の徹底と使用頻度減少により、目標を達成できた	継続
		②積込み時のアイドリングストップの実施		
		③渋滞回避ルートの走行		
	ガソリンの節減 /発電機	①アイドリングストップの推進	各現場、活動内容を徹底している	継続
		③点検整備の推進		
軽油の節減 /発電機	①アイドリングストップの推進	各現場、活動内容を徹底している	継続	
	③点検整備の推進			
資材の適正管理 (塗料・防水材など)	①空缶検査の徹底	活動内容を徹底し、目標を達成できた	継続	
	②残材の適正処分			
	③化学物質使用量の把握			
環境配慮工事の実施	①関係住民への説明	各現場工夫をこらし、目標を達成できた	継続	
	②ケレン屑の適正処理・処分			
	③低公害型重機の使用			
	④防音型の工具の使用			
建設リサイクルの推進	①13分別の徹底	分別の徹底を図り、目標を達成できた	継続	
	②仮設材などの再利用の推進			
	③建設廃材の再資源化の推進			

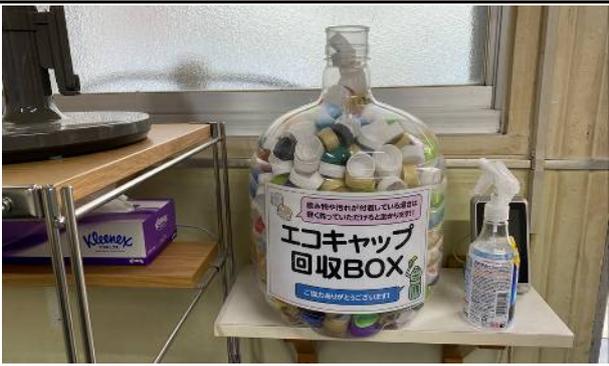
7. 環境負荷の実績

2020年度(基準年)と、2021年度・2022年度・2023年度の各1年間の環境負荷の実績は次の通りです。

項目と単位		2020年度 (基準年)	2021年度	2022年度	2023年度	
二酸化炭素(CO ₂)排出量		kg-CO ₂	151,265.47	180,581.77	165,403.48	148,601.72
エネルギー 使用量	購入電力	kWh	44,083.00	43,143.00	43,574.00	43,527.00
	建設現場等の購入電力	kWh	80,172.00	109,481.00	102,876.00	94,577.00
	ガソリン	ℓ	6,131.03	6,059.08	5,686.42	6,154.89
	建設現場等のガソリン	ℓ	28,843.83	32,175.71	29,812.74	24,561.54
	軽油	ℓ	1,845.31	1,735.96	2,529.49	1,011.41
	建設現場等の軽油	ℓ	3,182.64	6,797.87	3,705.52	4,480.47
	建設現場等の灯油	ℓ	36.00			
	都市ガス	ℓ	21.00	16.00	9.00	18.00
	液化石油ガス(LPG)	kg	160.22	127.10	101.64	98.12
一般廃棄物総排出量		kg	1,010.00	870.00	1,090.00	1,220.00
産業廃棄物総排出量		kg	814,009.60	2,697,579.00	2,619,665.00	1,073,080.00
産業廃棄物 中間処理	中間処理量	kg	814,009.60	2,697,579.00	2,604,665.00	1,044,980.00
	うち再生資源化量	kg	802,421.40	2,684,371.00	2,555,255.00	1,020,130.00
	最終処分(埋立)量	kg	11,588.20	13,208.00	49,410.00	24,850.00
	再資源化率	%	98.58	99.51	97.54	95.07
産業廃棄物(特別管理)総排出量		kg	22,592.00	6,621.00	70,835.00	49,452.00
産業廃棄物 中間処理	中間処理	kg				
	うち再生資源化量	kg				
	最終処分(埋立)量	kg	22,592.00	6,621.00	70,835.00	49,452.00
	再資源化率	%				
水使用量		m ³	683.00	668.00	590.00	508.00
化学物質 使用量	アクリル酸ブチル	kg			0.10	
	2-アミノエタノール	kg	0.10		0.20	
	アンチモン及びその化合物	kg			1.38	
	3-イソシアナトメチル-3,5,5-トリメチルシクロヘキシル=イソシアネート	kg	203.68	260.84	201.20	173.56
	4,4'-イソプロピリデンジフェノール	kg			2.48	
	2-エチルヘキサン酸	kg				0.06
	エチルベンゼン	kg	270.37	614.35	748.82	678.48
	エチレングリコールモノエチルエーテル	kg	0.06	19.90	5.43	
	キシレン	kg	587.20	758.18	1,010.04	760.85
	クメン	kg	21.40	40.71	30.38	16.72
	クロム及び三価クロム化合物	kg	114.24	277.20	170.58	2.06
	酢酸2-エトキシエチル	kg		13.50	14.85	18.00
	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン	kg	24.27	95.98	125.36	144.64
	ジクロロメタン	kg	26.89	13.44	72.91	44.76
	N,N-ジシクロヘキシルアミン	kg				0.30
	N,N-ジメチルホルムアミド	kg			0.13	1.38
	スチレン	kg	0.18	4.41	11.56	0.90
	テトラヒドロメチル無水フタル酸	kg	5.28	1.68	14.64	
	トリレンジイソシアネート	kg	36.58	42.57	68.32	42.90
	トルエン	kg	5,156.59	9,724.63	9,498.85	5,908.05
	ナフタレン	kg	0.19		0.38	1.26
	アルキルフェノール(アルキル基の炭素数が9のものに限る。)	kg	0.13			
	フェノール	kg		0.20	0.40	5.24
	フタル酸ジブチル	kg	5.88	70.31	141.25	142.92
	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	kg	1.78	4.35	2.14	168.56
	ふっ化水素及びその水溶性塩	kg			1.92	
	ヘキサシ	kg	0.82	10.74	10.30	0.46
	ほう素化合物	kg			0.09	
	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)	kg	2.97		1.17	1.48
	ポリ(オキシエチレン)=アルキルフェニルエーテル(アルキル基の炭素数が8のものに限る。)	kg		0.02	0.14	0.02
	ポリ(オキシエチレン)=アルキルフェニルエーテル(アルキル基の炭素数が9のものに限る。)	kg	26.10	20.58	26.29	4.53
	マンガン及びその化合物	kg		2.00		
	メタクリル酸	kg			0.27	
	メタクリル酸メチル	kg	0.79		4.09	3.80
	メチルナフタレン	kg			0.74	
	メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	kg	14.81	2.60	114.34	31.57
	アルカン-1-アミン(アルカンの構造が直鎖であり、かつ、当該アルカンの炭素数が8、10、12、14、16又は18のもの及びその混合物に限る。)、(Z)-オクタデカ-9-エン-1-アミン及び(9Z,12Z)-オクタデカ-9,12-ジエン-1-アミン並びにこれらの混合物	kg			1.50	14.49
	アルファ-アルキル-オメガ-ヒドロキシポリ(オキシエタン-1,2-ジイル)(アルキル基の炭素数が16から18までのもの及びその混合物であって、数平均分子量が1,000未満のものに限る。)、及びアルファ-アルケル-オメガ-ヒドロキシポリ(オキシエタン-1,2-ジイル)(アルケル基の炭素数が16から18までのもの及びその混合物であって、数平均分子量が1,000未満のものに限る。)並びにこれらの混合物	kg				1.45
	アルファ-アルキル-オメガ-ヒドロキシポリ(オキシエチレン)(アルキル基の炭素数が9から11までのもの及びその混合物であって、数平均分子量が1,000未満のものに限る。)	kg				1.45
	アルファ-(イソシアナトベンジル)-オメガ-(イソシアナトフェニル)ポリ[(イソシアナトフェニレン)メチレン]	kg			0.17	7.55
	エチレングリコールモノブチルエーテル	kg			1.94	71.52
	ジエチレングリコールモノブチルエーテル	kg			12.71	1,454.34
	シクロヘキサン	kg				2.93
	ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン	kg				0.02
	ドデカン-1-チオール	kg			0.36	0.82
	トリメチルベンゼン	kg			38.94	2,201.23
	トリメトキシ-3-(オキシラン-2-イルメトキシ)プロピル]シラン	kg			1.34	6.74
2-ターシャリ-プトキシエタノール	kg			13.65	42.44	
メチルイソブチルケトン	kg			6.46	174.99	
N-メチル-2-ピロリドン	kg			1.28	11.06	

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数は、2021年1月7日環境省発表/2019年度の東京電力エナジーパートナー調整後排出係数は(参考値)事業者全体の(0.455kg-CO₂/kWh)を適用

8. 活動報告

電気使用量削減	
	
ウィンドフィルムの設置	詰所入口が自動で閉まるように重りで工夫
建設リサイクルの推進	
	
掲示による分別の促進	各自治体に従い事業系一般廃棄物を分別
松戸市ボランティア活動参加	
	
雨の中、松戸駅周辺のゴミ拾い	集積所にて集合写真
エコキャップ運動への参加	
	
各現場や事務所でエコキャップを回収	CO2発生量を累計で327.91kg削減

9. 環境経営目標と環境経営計画(2021～2023年度の中期環境経営目標)

基準年を2020年とした今後3カ年の節減率の中期環境経営目標は次の通りです。

	目標項目	基準年実績 (2020年度)	単位	2021年度		2022年度		2023年度	
				削減等%	目標値	削減等%	目標値	削減等%	目標値
全社	二酸化炭素の削減 ※	151,265	kg	削減率0.8%	150,034	削減率1.6%	148,803	削減率2.4%	147,571
本社・支店・ 資材センター	電力の節減(本社)	39,752	kWh	節減率0.5%	39,553	節減率1.0%	39,354	節減率1.5%	39,156
	電力の節減(東京支店)	448	kWh	節減率1.0%	444	節減率2.0%	439	節減率3.0%	435
	電力の節減(資材センター)	3,883	kWh	節減率1.0%	3,844	節減率2.0%	3,805	節減率3.0%	3,767
	ガソリンの節減(営業車)	6,131	ℓ	節減率1.0%	6,070	節減率2.0%	6,008	節減率3.0%	5,947
	軽油の節減(営業車)	1,845	ℓ	節減率1.0%	1,827	節減率2.0%	1,808	節減率3.0%	1,790
	水資源の節減	683	m3	維持	683	維持	683	維持	683
	事務所廃棄物の削減	1,010	kg	維持	1,010	維持	1,010	維持	1,010
	紙使用量の節減	461,060	枚	節減率1.0%	456,449	節減率2.0%	451,839	節減率3.0%	447,228
	地域社会貢献活動	1	回	-	必要の都度	-	必要の都度	-	必要の都度
	環境に配慮した計画・設計の提案	51	件	-	全件提案	-	全件提案	-	全件提案
現場	電力の節減(現場)	80,172	kWh	節減率0.5%	79,771	節減率1.0%	79,370	節減率1.5%	78,969
	ガソリンの節減(現場車両)	25,951	ℓ	節減率1.0%	25,692	節減率2.0%	25,432	節減率3.0%	25,173
	ガソリンの節減(運搬車)	2,536	ℓ	節減率1.0%	2,510	節減率2.0%	2,485	節減率3.0%	2,460
	軽油の節減(運搬車)	1,717	ℓ	節減率1.0%	1,699	節減率2.0%	1,682	節減率3.0%	1,665
	ガソリンの節減(発電機)	357	ℓ	維持	357	維持	357	維持	357
	軽油の節減(発電機)	1,466	ℓ	維持	1,466	維持	1,466	維持	1,466
	資材の適正管理(塗料・防水材など)	20	件	-	全件実施	-	全件実施	-	全件実施
	環境配慮工事の実施	20	件	-	全件実施	-	全件実施	-	全件実施
	建設リサイクルの推進	20	件	-	全件実施	-	全件実施	-	全件実施

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数は、2021年1月7日環境省発表／2019年度の東京電力エネルギーパートナー調整後排出係数は(参考値)事業者全体の(0.455kg-CO2/kWh)を適用

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1) 関連する法規制等は次の通りです。

建設業法	ダイオキシン類対策特別措置法
建設リサイクル法	消防法
廃棄物処理法	浄化槽法
水質汚濁防止法	道路交通法
労働安全衛生法	道路運送車両法
フロン排出抑制法	自動車NOX・PM法
騒音規制法	家電リサイクル法
振動規制法	小型家電リサイクル法
悪臭防止法	グリーン購入法
大気汚染防止法	化管法
自動車リサイクル法	

2) 2024年8月2日に遵守確認を行った結果、環境関連法規への違反・訴訟などはありません。
なお、関係当局よりの違反などの指摘は過去3年間ありません。

11. 代表者による評価と見直し

地球規模の環境変化により、近年猛暑日が多く、熱中症の危険が大変高まっている為、働く人の安全衛生対策を第一優先として、各取り組みを継続していく。
目標設定およびその呼びかけ・啓発ポスターの掲示等により環境配慮への意識が高まり、全社一丸となって取り組んだ結果、混合廃棄物の減量や不要エネルギーの削減へとつながっている。

- ① 電気・燃料の使用量は現場状況によって変動するが、厳しい猛暑が続く中でも、工夫して環境配慮の取り組みを継続している。今後も削減ができないことを悩むより削減可能な取り組みを積極的に行う。
- ② 電気量は夏場にピークになる為、エアコンの適切な温度管理や省電力な家電を併用し、各現場で実施可能な工夫で電気使用量低減を継続していく。
- ③ 石綿の事前調査報告は、対象となる全現場で滞りなく適正に実施できている。
また、PRTR制度において化学物質の指定が追加された為、引き続き正しい知識をもって取り扱えるよう、教育や必要な資格取得に力を入れる。
- ④ 2期連続して廃棄物発生量が1,000tを超えたが、多量排出事業者として滞りなく適正に報告ができている。
決められた撤去工事である為、減量は難しいが、適正処分および法令遵守を確実にする。
- ⑤ エコキャップや使用済み切手の回収活動、清掃ボランティア活動において多くの協力が得られたので、引き続き継続していく。

エコアクション21活動は、全員参加が重要な為、今後も各事務所、各現場および協力会社を巻き込み、コツコツと有用な活動を継続していく。

次回の環境経営レポートは2025年 9月頃に作成する。

2024年9月2日

呉光塗装株式会社

代表取締役 奥野 真一